容器の差が濾過の差になる

高性能フィルターで濾過したのに異臭が混ざる。 その原因がハウジングにあることに着目しました。

分解・洗浄性を徹底的に追求した「洗える」ハウジング。 しかし「洗える」というだけでは解決できない問題があった。

例えば「徹底的に洗える」としても、それを毎日行うのは現実的ではない。 定期的な徹底洗浄は必要だけど「毎回洗える」事も必要。 しかもラクに、簡単に。

日常の作業にプラスをほんの少し。

衛生を保ち続け、フィルターの良さを最大限活かす。 KPDのハウジング、サニハウ+プラスができました。







中空糸フィルターの パフォーマンスを支える ハウジング

サニハウサッツ







醸造業界で活躍中の濾過方法

中空糸膜フィルター濾過(通称: SF濾過)

精密濾過の中でも、さらに高精密を実現した濾過方法です。 0.5μm以下では、火落ち菌を含む一般雑菌を除去しつつ、 孔径の選定によって、お酒の味わいを残した濾過が可能 です。また、生酒・貯蔵酒の濾過だけでなく、仕込み水等の 濾過にも使用されています。

ユアサメンブレンシステム製

中空糸(膜)フィルター

行 「 伊藤士

● 保護カバー付きのフィルター形状。 ハウジングからの取り出しが容易なので、 目的ごとにフィルターを交換して使用可能。

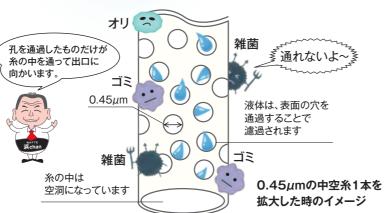
- ※ 別途保管用ケースが必要となります。
- ※ 定期的なハウジング分解洗浄時に、フィルター糸切れが 起こりにくい構造となっております。
- 非対称構造のポリスルホン膜により、 高流量の濾過で微粒子、細菌を確実に捕捉。
- 従来のプリーツタイプのカートリッジ フィルターと比較して2~3倍の濾過寿命。
- 薬品洗浄、逆圧洗浄による再生が可能。

中空糸の孔径の選定 <例>

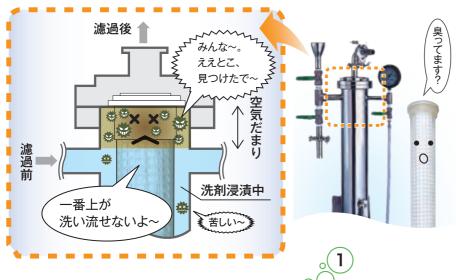
仕込み水などの濾過には 0.1・0.2μm生酒などの処理には 0.45μmより味わいを残したい時は 0.8μm

その他充填前の濾過やオリ引きなど





従来型ハウジングで問題発生!?



従来のハウジングでは・・・。

上部にできる空気だまりの洗浄・すすぎが困難で雑菌やカビが繁殖する恐れがありました。それが原因となり、シーズン初めの濾過時に異臭が製品に移るなどの問題を起こすこともありました。



サニハウナ



隅々まで洗えて二オイ対策もできる サニタリ式ハウジング。

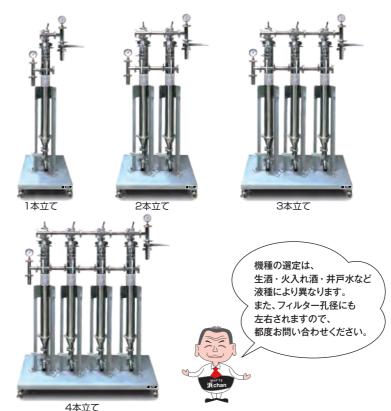
中空糸(膜)フィルターを使用する濾過において 日常の洗浄性と、定期的な分解洗浄性に とことんこだわりました。

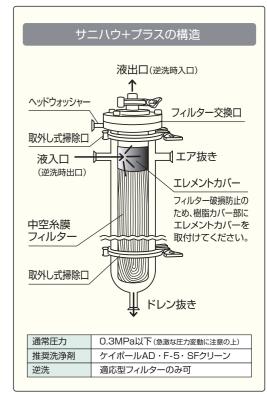
サニハウナ

ラインナップ

洗える・流せる・替えられる。

KPDのこだわりを細部にまで施した新しいサニタリ式ハウジングです。





サニハウナッ

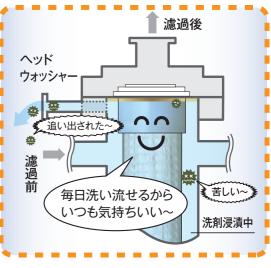
の特長 ① ヘッドウォッシャーで洗い流す

しつかり洗い流せる。しつかり浸せる。

ヘッドウォッシャーで、雑菌繁殖の原因となる上部の空気だまりを ギリギリまで無くしました。

最上部付近まで洗えるので、 雑菌や有機物を洗い流せる上、 保管中も薬液などに しっかり浸せます。





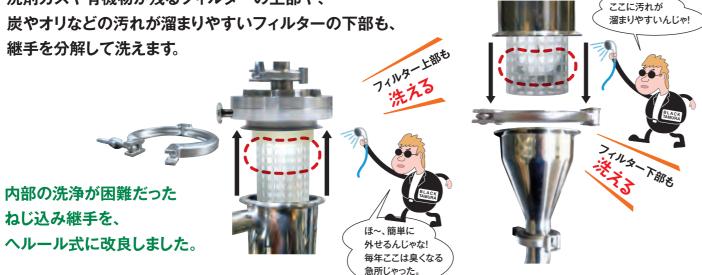


の特長② フィルターの急所も洗える

炭・オリ・洗剤残りゼロを目指す。

洗剤カスや有機物が残るフィルターの上部や、 炭やオリなどの汚れが溜まりやすいフィルターの下部も、

継手を分解して洗えます。





の特長③ ハウジングを分解できる

徹底的に隅々まで洗える。

分解・組立が容易なヘルール式なので、徹底的に洗浄を行えます。



サニハウナッ

の特長 ④ 組み替えて使える

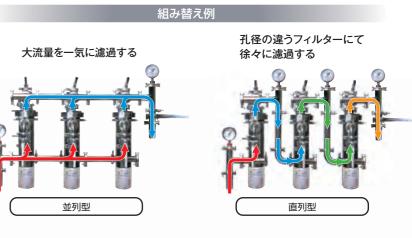
目的やシチュエーションに合わせて変形させる。

サニタリ継手を交換してハウジングのつなぎ方を変え、 目的に合わせた、いろいろな濾過ができます。













サニハウナ

の特長 ⑤ フィルターを清潔に保管する

専用のケースとパッキンを使って保管する。※別売オプション品

濾過時にフィルター表面(下部)についた汚れや雑菌が、 濾過後の吐出側(フィルター上部)に移らない状態で保管できます。



専用保護パッキンがない場合



専用保護パッキンがある場合

